

## 地鎮祭式次第

式次第	意味
しゅばつぎ 修祓の儀	神前にて、祓詞を奏上し大麻ですべてを清めます。 参列者は、浅い札をしてお祓いを受けます。
こうしん 降神の儀	降神詞を奏上し、 <sup>ひもろぎ</sup> 神籬に神様をお招きします。 <sup>さんれつしゃ</sup> 参列者は、深い札をいたします。
けんせん 献饌	お招きした神様に、お供え物をします。
のりとそうじょう 祝詞奏上	神職が祝詞を奏上します。 祝詞奏上の間は、軽く頭を下げます。
さんく 散供の儀 きよはら (清祓いの儀)	切麻、または大麻によって、土地の四隅（四方）と中心を清めます。
かりぞめ 刈初の儀	鎌で草を刈ります。 ①神職から鎌を受け取ります。 ②盛り砂に刺してある草をつかみ、鎌で草を刈る形を行います。 ③草を刈る形を3回行い、刈るときに「エイ、エイ、エイ」と声を出します。 3回刈るまねをしたら、草を抜き下に置きます。
うがちぞめ 穿初の儀	鍬入れをします。 ①神職より、鍬を受け取ります。 ②盛り砂に、3回鍬を入れます。 ③鍬を入れるとき「エイ、エイ、エイ」と声を出します。 鍬を入れるとき、盛り砂を崩していきます。
たまぐしほうてん 玉串奉奠	安全を祈ってその思いを玉串によせ、神前に捧げます。 ①玉串を右回りに回しながら根本を神前に向けてお供えします。 ②神前に向かって、二拝・二拍手・一拝の作法でお参りします。 (二度深く頭を下げます。二度拍手を打ちます。一度深く頭を下げます)
てっせん 徹饌	神様にお供えした御神酒とお水のフタを閉めます。
しょうしん 昇神の儀	神籬にお招きした神様に、お帰り申しあげます。
なおらい 直会	神前にお供えした御神酒を、皆様で戴きます。

※「刈初の儀」「穿初の儀」を地鎮の儀と言います。地域によって執り行わない場合もあります。

※地鎮の儀で、鋤の儀を執り行う場合があります。「穿初の儀」の中に入ります。

地鎮祭 起工式 上棟式  
入居祓 家移り お清め  
解体祓 生抜き お祓い

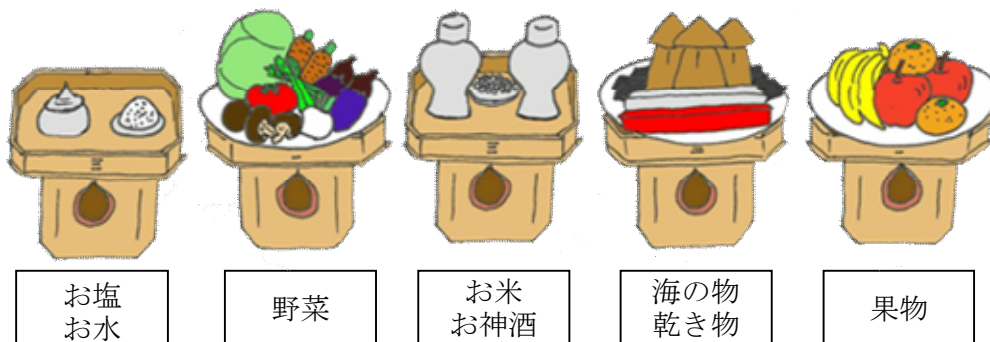
～ 揃えていただくお供え物 ～

- ① 御 神 酒 一升瓶または二合瓶
- ② 御 洗 米 一握り強ほど。ビニールの袋などに入れてください。
- ③ 御 塩 一握り強ほど。ビニールの袋などに入れてください。
- ④ 御 水 コップ半分ほど。500ml のペットボトルで十分です。
- ⑤ 海 の 物 (乾き物) 例：魚、スルメ、昆布、寒天、干し椎茸
- ⑥ 野 菜 例：大根、ニンジン、キュウリ、トマト、なす
- ⑦ 果 物 例：リンゴ、みかん、バナナ、ぶどう、なし

※ 海の物、野菜、果物は、それぞれ3種類ぐらい用意してください。  
お供えする個数に決まりがありません。

※ お供えを載せる、台、お皿、器などは持っていきますので、用意しなくていいです。

～ お供えの例 ～



おんたけさん 敬神大教会

〒441-8077 愛知県豊橋市神野新田町口ノ割154

TEL (0532) 31-8595

FAX (0532) 31-7714